

第6学年 家庭科授業構想シート

授業者 静川 郁子

本実践の主張点	汚れの種類・汚れ方に合わせた掃除ができれば、物を傷めずに長く使えることを理解させることで、状況に応じたよりよい掃除方法を探究する力が育つだろう。子どもたちが、持続可能な社会の担い手になっていく学びにする。
---------	--

1. 単元名 クリーン大作戦！～ずっと大切に～

2. 6年A組の子ども

<p>昨年度より、校内一斉清掃は1～6年生の縦割り班で行っている。春からは最上級生として下級生たちに掃除の仕方を教えている。しかしながら、6年生の子どもたちの掃除についての意識は、「汚くなったら掃除をすればいい」「できれば、掃除をしたくない」である。</p> <p>子どもたちが、どうして汚れるのか、なぜ掃除をしないといけないのかを理解した上で清掃活動を行っているかは不明である。家庭科の学習を通して、「なぜその行為を行うのか」を問い直し、子どもたちの思考力・判断力を高めたい。</p>

3. 何ができるようになるか

探究力	省察性
<ul style="list-style-type: none"> 汚れの性質と材に合わせて掃除の仕方考えることができる（思考力・判断力） 	<ul style="list-style-type: none"> 汚れを取る活動を通して気付いたことや、工夫したことを交流する中で、なぜその方法がよかったのか根拠を明らかにする力（思考力・判断力を支える省察性）

4. 何を学ぶのか

① 単元の目標

なぜ汚れるのか、何のために掃除をするのかを理解した上で、汚れの性質と材に応じた掃除の仕方を考え、適切な掃除ができる。
--

② 教材の価値

<p>子どもたちは、「汚れ探し」活動を通して、普段何気なく取っている汚れを見つめ直す。そこから、汚れはどこからくるのか、なぜ汚れるのか、何のために掃除するのかを考える。汚れの種類に応じた掃除の仕方を探究することで、適切に掃除ができるようになる。</p> <p>また、汚れは時間が経つと落ちにくくなることや、住居用洗剤は取り扱いによって危険を伴うものもあるため、表示をよく見て使う必要があることに気づくようにする。さらに、和室の畳の掃除の仕方にも触れ、日本の生活文化に気づくことができるようにする。</p>
--

③学年間・教科間のつながり

学年・教科	内 容
3・体育(保健)	毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること
6・体育(保健)	病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わり合って起こること
6・理科	水溶液の性質
中学・家庭	家族の安全を考えた住空間の整え方の工夫
高校・家庭総合	住生活の科学と文化(住環境などについて科学的に理解させるとともに、住生活の文化に関心をもたせ、必要な技術を習得して充実させた住生活を営むことができるようにする)

5. どのように学ぶのか

① 働かせたい思考スキル

<input checked="" type="checkbox"/> くらべる <input type="checkbox"/> つなげる <input type="checkbox"/> まとめる <input checked="" type="checkbox"/> 広げる <input type="checkbox"/> 予想する <input type="checkbox"/> 見方を変える
--

② 学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程

単元計画(全5時間) 本時 2/5 第1次 汚れ調べを通して、掃除の必要性を理解する(1) 第2次 汚れの落とし方を考える(2) 本時 1/2 第3次 附属小学校クリーン大作戦!(1) 我が家のクリーン大作戦!(1)		単元における授業づくりのしかけ
	探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚れの種類・汚れ方を表にまとめたり、目に見えなかったホコリや汚れを可視化したりすることで知識・理解の構造化を図る。
	省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画し、実践した掃除方法の良さを交流することで、思考・判断の根拠を明らかにする。

6. 何が身に付いたか

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掃除の必要性を理解する。 ・ 汚れの性質と材に応じた掃除ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚れの性質と材に応じた掃除の仕方を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校での掃除を見直したり、家庭での掃除計画を立てたりすることができる。